

平成29年度行政評価委員会 議事要旨

会議名	葛飾区行政評価委員会 第6回第一分科会
開催日時	平成29年8月10日(木) 午前10時から12時まで
開催場所	葛飾区役所新館5階 庁議室
出席者	【委員7人】 大石会長、安藤委員、大山委員、河角委員、千田委員、堀切委員、望月委員 【区側5人】 事務局(政策経営部長、経営改革担当課長、事務局職員3人)

会議概要

1 開会

(事務局より資料の確認)

2 答申内容のまとめ

(1) エイズ・性感染症対策

(前回までの議論を踏まえて答申内容のとりまとめ)

<成果について>

意見なし

<コストについて>

A委員 : 梅毒の検査方法を即日検査に変更することは有効であると考えているが、その分コストの増加につながると考える。梅毒患者が増加傾向にあることから、コストを掛けてでも対策を行うべき旨を提言内容に盛り込んでいただきたい。

<今後の方向性について>

B委員 : 第4回分科会の際に、感染の不安がある場合には、プライバシーに配慮しつつ相談できる窓口を広く設けてもらいたいとの意見があったが、相談をしたくても電話相談に対して心理的に抵抗がある若年層もいるのではないか。若年層向けの取組みとして、電話以外にメ

ールでの相談を受け付けられるようにできないものか。

大石会長：メールでの相談を受け付ける場合、区の既存システムで対応できるものか。

事務局：区では、28年1月から「葛飾区総合アプリ」の配信を開始しているため、エイズ・性感染症に関する相談窓口の案内や予防に関する情報をアプリに掲載することは可能であろう。ただ、メールでの相談機能を付加するとなると、新たなシステム開発が必要になる可能性はある。また、相談の匿名性をどのように確保していくかは検討が必要になると思われる。

B委員：一つの提案として、誰もが気軽に相談できるよう、メールを活用した相談窓口の開設についても提言内容に盛り込んでいただきたい。

大石会長：提言内容に加える。

C委員：健康教育の実施について、「葛飾教育の日を活用した講演会の実施等を検討する必要がある」とした方が良いのではないか。また、エイズ・性感染症の予防に関して学校側の意識を高めるためにも、提言内容としては、「性教育や薬物乱用防止等の保健体育の授業の中で、エイズ・性感染症の危険性についても取り入れるよう学校側へ依頼すべきである」とした方が良い。

A委員：梅毒患者の急増対策として、コストを掛けてでも即日検査を導入すべき旨を提言内容に加えるべきである。

B委員：梅毒の即日検査を導入し、早期発見・早期治療につなげるべき旨は提言内容に盛り込んでいただきたい。

大石会長：これまでの意見にあった内容を踏まえた上で、対策を進めていくべきとし、「改善」として答申内容をまとめた。

(2) ごみ減量・清掃フェアかつしか

(事務局より追加資料について説明した後、質疑応答、答申内容のとりまとめ)

<追加資料について>

A委員：28年度の会場設営委託の受託業者は区内の業者か。

事務局：区外業者である。

A委員：会場設営委託経費は高いように感じる。委託内容に見直せる余地がないか検討してもらいたい。

大石会長：入札の際の条件はどのようなものか。

事務局：指定数のテント、テーブル、椅子、パネルを指定時間内で設営・撤去するよう仕様書にて定めている。

- B委員 : 設営当日にトラック等を使用してテント等を搬入しているのであれば、運搬費を含んだ設営撤去の人件費は妥当な金額ではないか。
- D委員 : 設営及び撤去の時間はどの程度か。
- 事務局 : 仕様書上、設営は午前7時から9時の間に、撤去は午後2時半から5時の間に完了させる旨定めている。

<成果について>

意見なし

<コストについて>

- A委員 : 会場設営委託経費は、事業費全体の中で大部分を占めているため、委託内容を精査し、コストを抑える余地がないか検討すべきと考える。
- B委員 : 比較材料がない中で、会場設営委託経費が高額であると断言しても良いものか。
- 大石会長 : 委員会として高額であると感じたのであれば、高額であると断定して良いと考える。
- A委員 : 会場設営委託経費は高額であり、直接事業費の大部分を占めている。フェアを実施する上で、コストをどこに掛けていくべきか、また、コストを抑える余地はないのかを検討していかなければならない。

<今後の方向性について>

- 大石会長 : 実施方法の工夫として、巡回バスの運行等により、区内全域からの来場者を受け入れる体制を整えるべきである。
- D委員 : フェア当日に配付しているチラシには、搬入された混入物により清掃工場の操業が停止してしまう旨が記載されているが、このような啓発は大事なことである。清掃工場では、混入物を展示しているのか。
- 事務局 : 通路には針金等の混入物を展示しており、工場見学の際に説明を行っている。
- D委員 : チラシ等の文字だけの啓発ではなく、視覚的に訴えられる展示を増やしてはどうか。
- 大石会長 : 提言内容に加える。
- B委員 : イベント内容に変わり映えがないことから、区として力を入れてPRをしていきたいテーマを毎年決めてはどうか。
- 大石会長 : 提言内容に盛り込む。

E委員 :自治町会連合会においても、PR方法を検討しているところである。
学校を介して子どもにPRすることで、保護者にも周知ができると
考えている。

B委員 :清掃工場で定期的に募集している工場見学の際以外に、ECOエコ
フェスタや環境・緑化フェア等の区が実施している環境関連のイベ
ントの際にも本フェアの開催についてPRすることで、効果的な周
知ができるのではないか。

大石会長 :提言内容に加える。

C委員 :本フェアは、地域と一体となって取り組むことで盛り上がっていく
イベントと考える。そのため、地域との連携の必要性を提言内容に
盛り込んでいただきたい。また、最終処分場が逼迫している現状の
みならず、3Rの必要性を訴えるブースも設ける必要がある。

大石会長 :提言内容に加えることとし、今後の方向性の評語については、「改善」
の意見が多数であったため、「改善」としたい。

(3) かつしか少年キャンプ

(前回までの議論を踏まえて答申内容のとりまとめ)

<成果について>

意見なし

<コストについて>

B委員 :参加したジュニアリーダーに新たにアンケートを実施する場合、コ
ストは増加するのか。

事務局 :消耗品費の中で、アンケート用紙を購入することになると思われる。
ただ、アンケート対象者はそれ程多くないことから、大幅な増額に
はならないであろう。

<今後の方向性について>

E委員 :ブロックごとにジュニアリーダーを推薦してもらえると、キャンプ
での指導者数が確保できるのではないかと。現状では、ジュニアリー
ダーが参加していないブロックもあり、ブロックによってはキャン
プの実態を全く知らない場合もあるのではないかと。ブロックへの協
力要請を行う旨の内容を提言に盛り込んでいただきたい。

F委員 :地域によってはジュニアリーダーがいなく、自体が課題であり、
ジュニアリーダーの担い手として子どもたちに働きかけていく方が

大切なのではないか。

- E委員 : ジュニアリーダーの活躍を多くの子どもに知ってもらう機会として、各ブロックに働きかけてみるべきと考える。
- F委員 : 多くの子どもに参加してもらうという点では、子ども会育成会連合会に加入していない単位子ども会に対して参加者の募集を行うことも一つの方法ではないか。
- 事務局 : 募集対象を拡大することにより参加が増える反面、指導者であるジュニアリーダーの確保がさらに難しくなる可能性がある。現在の体制ではキャンプの実施を継続できなくなる可能性もあり、キャンプのあり方そのものにも関わる課題が出てくるであろう。
- A委員 : 計画的な宿泊施設の確保は、本事業の一番の課題であろう。
- 事務局 : 宿泊施設の候補として提案のあった日光林間学園について、所管課に確認したところ、本キャンプで使用する場合には、宿泊料は無料となり、優先確保も可能であるとのことであった。そのため、宿泊施設の候補の一つとなるであろう。
- C委員 : 指導者であるジュニアリーダーの確保も大切ではあるが、宿泊施設の確保は大きな課題である。毎年宿泊先を変更するよりは、日光林間学園での実施として固定してしまえば、問題も解決するのではないか。また、区内での実施も検討してみてはどうか。
- 大石会長 : 参加者にとっては、キャンプで知らない場所に行く喜びもあり、宿泊施設の選定は大切になってくるのではないか。
- B委員 : キャンプを実施していくためには、まずは指導者であるジュニアリーダーの確保が必要であるが、キャンプの実施を継続していくためには、ジュニアリーダーの参加人数に応じた適正な参加定員での実施やジュニアリーダーによる指導のあり方自体の見直しも検討していく必要がある。
- F委員 : 子ども会育成会連合会の活動を活性化するためには、自治町会や学校を通じて、子どもや保護者に対して子ども会の必要性を再度訴えていく必要がある。
- B委員 : 子ども会育成会連合会の活動を活性化させるためには、今以上の財政的支援のみならず、子ども会に関連する他の事業と連携をする等の工夫が必要である旨を提言内容に加えてはどうか。
- 大石会長 : 提言内容に加える。また、「改善」の意見が多数のため、今後の方向性については、「改善」としてとりまとめた。

3 その他

(事務局より事務連絡)

4 閉会